

事務事業名		災害見舞金等支給事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	向田 紀之		
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	1 地域福祉活動の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6780	一般	3	4	1	災害見舞金等支給事業					
							市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	佐野市災害見舞金等支給条例、佐野市災害見舞金等支給条例施行規則					
							任意的事業・義務的事業	任意的事業			
							実施方法	直営			
							事業分類	現金・現物給付事業			
						リーディングプロジェクト	該当なし				
						市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
災害救助法の適用されない災害である火災等の被災者に、見舞金等を支給する事業です。 ・住家 全焼5万円、半焼3万円、浸水1万円 ・住家以外 50㎡以上1.5万円、25～50㎡1万円 ・弔慰金(死亡)10万円 ・見舞金(負傷)2万円 ・学用品等給与金 全焼 中学生8千円、小学生5千円、半焼 中学生5千円、小学生3千円 2月14日から15日にかけて発生した大雪被害に対する被災者1万円	全焼世帯6件、半焼世帯1件、非住家1件、浸水3件、大雪被害による住家1件に対して、見舞金を支給した。  大雪被害に対する規定を見直し、佐野市大雪被害被災者支援見舞金支給要綱を廃止した。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	火災等の災害件数(災害見舞金対象件数)	件	17	12	15		
	火災等の災害件数被災者数(災害見舞金対象者数)	人	39	32	40		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	安定した生活を送れるようにする。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		処理件数/被災者数	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

福祉活動に参加する人が増え、地域福祉が推進される。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	社会福祉協議会に登録しているボランティア数	人	2,342	2,481	2,140	2,160	2,180

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	615	490	752	752	752			
	事業費計(A)	千円	615	490	752	752	752			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			災害救助費	615	災害救助費	490	災害救助費	752	災害救助費	752
	人件費	人	1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	150	150	150	150	150				
人件費計(B)	千円	584	591	591	591	591				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,199	1,081	1,343	1,343	1,343				

事務事業名	災害見舞金等支給事業	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課	担当係	管理係
-------	------------	-----	--------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	災害救助法(昭和22年法律第118号)の適用されない災害による被害を受けた方を対象として始められた事業であるが、いつ頃、開始されたかは不明である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	なし
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	火災等の被災者に見舞金等を支給し、被災者の生活を支援することによって、生活再建を支えることは、やさしくふれあいのある健康福祉づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	火災等の被災者がゼロになることが本来の目的であり、収益を上げられない本事業を民間委託することは困難である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市民誰でも火災等の被災に遭う可能性がある。また、災害初期の生活資金として、現行の基準は妥当であるため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	火災等が発生した場合、消防より連絡してもらい体制を構築している。災害の把握は十分出来ているので、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・通常起こらない火災等に対して、被災者に対する生活資金であるため、削減余地はない。 ・火災の現場調査、見舞金の支出、支給ということの事務があるが、職員一名で行っており、削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	被災者の生活を支援するための見舞金等としての扶助であり、受益者負担を求める性質のものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	災害による被災者がいない場合		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			